



運動会を終えて：成長と学び



先日、四大大行事の一つである運動会が無事に終了しました。今年には人数制限を無くし、子ども・保護者・職員が一体となって楽しい運動会を作り上げることが出来ました。皆様本当にありがとうございました。

運動会には、次の3つの重要な目標があります。

1. **個々の発達を確認する場** 一年間の成長を確認し、他の学年の子ども達の様子も見ることで、今後の成長のイメージをつかむことが出来ます。多くの子ども達と触れ合うことで、子育ての参考になる気づきを得ることでしょう。
2. **集団における育ちの場** 運動会は個々の発達だけでなく、集団で行うことの重要性を学ぶ貴重な機会です。協力することの大切さや、規律を守ることの重要性を自然に学びます。
3. **親子で楽しむ場** 保護者の皆様も子どもと一緒に汗を流し、同じ体験を共有してください。心に残る思い出は、形だけではなく気持ちの共有から生まれます。同じ時間、同じ体験を通じて、子どもの心に響く思い出を作りましょう。

現代社会では、競争のストレスを減らすために小学校でも勝ち負けを避ける傾向がありますが、清香会ではあえて運動会で勝ち負けを導入しています。その理由は、子ども達が勝つ喜びや負ける悔しさを通じて、努力することの大切さを学び、心の強さや他者を尊重する姿勢を身につけることが出来るように、です。

【勝ち負けが子どもに与える影響】

1. **達成感と自信の育成**: 勝つことで達成感を味わい、自信を深めます。負けることで何が上手く出来なかったかを知り、次の挑戦への意欲を高めます。
2. **努力と忍耐の学び**: 勝利には努力と忍耐が必要です。この過程を通じて、目標に向かって一生懸命頑張ることの大切さを学びます。
3. **公正とフェアプレーの精神**: 勝ち負けを経験することで、ルールを守り、公正にプレーすることの重要性を理解します。これは将来の社会生活でも重要です。
4. **人間関係の築き方**: 勝敗を共有することでチームメイトとの絆が深まり、相手をリスペクトし協力することで良好な人間関係を築く力が養われます。

これらの経験を通じて、子ども達の心と体の成長を促す場となります。保護者の皆様には、子ども達の挑戦を温かく見守り、共に成長を喜び合っていただければ幸いです。

橋本 美香

アンケートの中にこのような保護者の温かい見守りエピソードがありました



『今まではただ楽しみにしていた運動会が、今年初めて行きたくない！と言っており、「自分の不得意分野で恥をかきたくない」という気持ちが芽生えていたのが成長だなと思いました。鉄棒で一度しか回れていないから運動会は休む！と毎日言っていました。そうは言いつつも公園で練習しようしたり、ダンスは得意げに教えてくれたりと自分の中で「行かないわけにはいかないかも」と覚悟していたように感じ、自分の気持ちと戦っていて偉いなと思いましたそして本番では、努力の甲斐あって見事成功したので、自分の力で一つの壁を乗り越えた姿に感動してしまいました。』